

まほろば

<校訓> 『真理を求め友愛に生きる』

令和5年11月17日(金)

第 13 号

花巻市立 東和中学校

TEL 42-4221

FAX 42-4222

～「めくもり」と「輝き」のある東和中学校をめざして～

今後の方向性を確認した生徒総会 新生徒会スローガン「TRY～我らの伝統を誇りに～」

10月30日(火)に今年度の後期から来年度への東和中生徒会活動の柱を討議する「後期生徒総会」が開かれました。

新生徒会スローガンは、「TRY～我らの伝統を誇りに～」。

スローガンを達成するためのキーワードとして、「努力する」・「やってみる」を掲げました。東和中新生徒会の今後の活躍が楽しみです！前期生徒会執行部の皆さん、今までありがとうございました！



2年生：薬物乱用防止教室

11月1日(水)、2年生を対象に本校学校薬剤師である武政 美紀子さんに講師を務めていただき、「薬物乱用防止教室」を行いました。生徒は、改めて薬物乱用の恐ろしさや命の大切さを学び、絶対に薬物を使用しないということを胸に誓いました。

4年ぶりの開催！花巻市中学校総合文化祭♪

11月11日(土)～13日(月)に花巻市文化会館で「花巻市中学校総合文化祭」が開催されました。展示部門では、市内各中学校の授業で作成した美術・技術・家庭・書写の作品が展示されました。

ステージ部門においては、本校からは2年生が参加。学年合唱「ほらね」
<指揮：大松 天さん・伴奏：中島 紗弥さん・学校紹介：佐藤 花音さん>
を堂々と発表しました。また、大松 天さんと上山 梨羅さんは生徒実行委員としても活躍しました。



実い多き「授業実践公開研究会」！

11月8日（水）、「授業実践公開研究会」を行いました。「自分の考えを深め、学び合う生徒の育成～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習指導～」の研究テーマのもと全教職員で取り組んできた実践を花巻市内外の先生方・地域の皆さんに参観していただきました。今回の研究会での指導や助言も踏まえ、今後も学力向上・健全育成に向けて全職員一丸となって努力していききたいと思います。



お見事！ 「人命救助」

岩手日報社の許諾を得て転載しています



岩手日報

2023年（令和5年）11月15日（水曜日）



男性が救助された現場で当時の状況を振り返る（左から）藤浪愛菜さん、鎌田結菜さん、小田島舞佳さん、大坂雪乃さん、花巻市東和町根更希さん

列車の通過時間が迫る中、勇気ある行動が人命を救った。花巻・東和中（岩手聖孝校長、生徒195人）3年の女生徒5人は14日、花巻市東和町のJR釜石線の線路脇で怪我をした男性を救助し、70代男性を助けたとして、表彰された。一手に分かれ現場で声をかけ続けたり、救助や列車の停止を求めたりした。クラスメイト5人の「連携プレー」が光った。

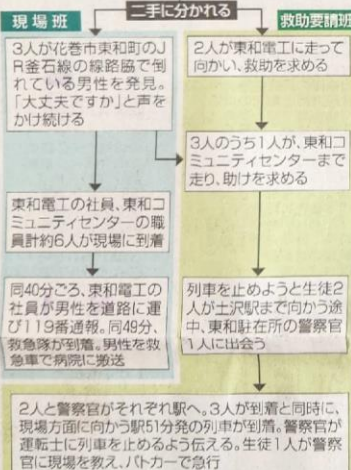
線路脇で負傷男性発見、手分けし近隣に助け求める

中学生の勇気 人命救う

花巻・東和 藤根さん、大坂さん、小田島さん、鎌田さん、藤浪さん

花巻・東和中女子生徒5人の主な動き

10月25日午後3時半ごろ、5人が下校中に助けを求める声を聞く



「連携プレー」に表彰状

「助けて」。10月25日午後3時半ごろ、現場付近を下校中の生徒がかすかな声に気付く。藤根美希さん、大坂雪乃さん、小田島舞佳さん、鎌田結菜さん、藤浪愛菜さんの5人。とっさに「手に分かれ3人は声を求めた。2人は約350メートル離れた東和電工へ助けを求めに走り出した。現場に残った3人は、線路のり面の間ですくまづいてる男性を見つけた。頭から血を流していた。ガイドレーンと線路の先だったため、あまり近づけなかったが「大丈夫ですか」と声をかけ続けた。3人のうち藤根さんが機械を利かせ、約450メートル離れた東和コミュニティセンターに向かい女性職員1人を連れて戻った。その後、大坂さんと2人で列車を停止させようと約1.5先の土沢駅へと走った。その途中、巡回中の花巻市東和町駐在所の警察官1人に出会った。事情を伝え、一緒に現場に向かい、3人が駅に着くと同時に、現場方面に向かう午後3時51分発の列車が到着するまで約20分、列車の通過時刻が迫る中で救出劇だった。

藤根さんは「すぐに気持ちよく切り替わり気がついた。走っていた。藤浪さんは「状況に、怖くも位いてしまった。二つの命が無事に救われたことがうれしかった。助けて良かった」と口をそろえた。同校で5人と東和電工の平野野村社長（69）に表彰状を手渡した。消防本部の八重樫晴彦消防長（58）は「一連の冷静な判断、勇気ある行動がなければ、さらに人的被害が拡大していたかもしれない」と感謝していた。

